

# 三勲小だより

令和2年11月24日(火)



## <参観日、ご協力ありがとうございました。>

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、様々な行事を中止したり延期したりしてきました。参観日も実施していなかったため、学校や学級の様子や学習を直接見ていただくことができませんでしたが、11月14日(土)は土曜授業として今年度初めて授業の様子を参観していただきました。子どもたちは初めて保護者の方に見ていただくということで、張り切って学習していたように思います。朝の体温測定や連絡、人数制限、マスクの着用、手指の消毒、地区別にソーシャルディスタンスを保つための参観などお願いすることが多くありましたが、ご理解・協力いただきまして、ありがとうございました。学校では引き続き、グループやペアでの学習は短時間で行うこと、手洗いの励行、マスクの着用、換気(エアコン使用時は特に)など、感染症拡大防止に努めていきたいと思っております。

## <朝のボランティア>

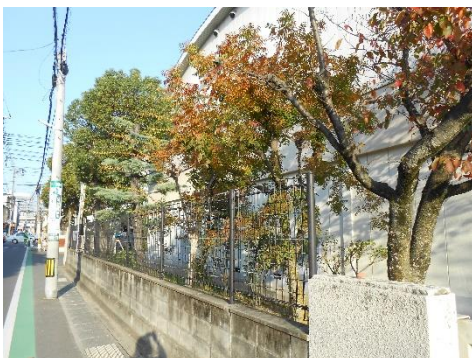


学校から賞状を渡すことにしています。

これまで中止にしていた朝のボランティアを開始することにしたところ、徐々に自主的に取り組む子どもが増えてきました。今は落ち葉の多い時期なので、登校してから教室に入る前にたくさん子どもたちが朝掃除に取り組んでいます。低学年の子どもがうっかりしまい忘れたほうきを、上の学年の子どもが気付いて片付ける姿も見られます。また、あいさつ運動に取り組んでいる子どももいます。みんなのために頑張ろうという気持ちをとてもうれしく思います。一か月続けた子どもには「光る子賞」として、

## <大イチョウと樫の木>

北館東端に、学校のシンボルの大イチョウがあります。4階建て校舎よりも高くなり、今は葉が落ちて黄色いじゅうたんを敷いたようになっています。この大イチョウは昔、相生橋南広場にありました。昭和13年の都市計画によって西運動場中央を南北に国道が貫通したため、北の御成川を埋め立てて校舎の北に運動場を新設した際、学校に寄贈されました。植え替えの時には、職員で掘り返し、綱引きの大綱をかけて児童



400人で引っ張ってもだめで、結局二つに引き割り、綱をつけて2日かかりでやっと今の場所に運び、元の1本に戻したのだそうです。

また、樫の木と言えば閑谷学校のものが有名ですが、本校の正門東の桜とサルスベリの間にも樫の木があり、今、きれいに色づいています。樫の木は孔子にちなんで「学問の木」とも呼ばれています。2学期もあと一か月、子どもたちにとって、学びの多い毎日を過ごせるようにしたいと思います。



